

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	GOLD REVOLT		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.470	△RG	0.056	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

テストボール：GOLD REVOLT

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：UNITED REVOLT

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

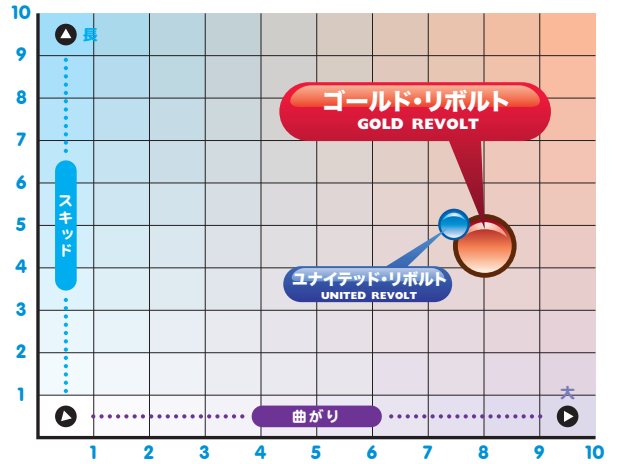
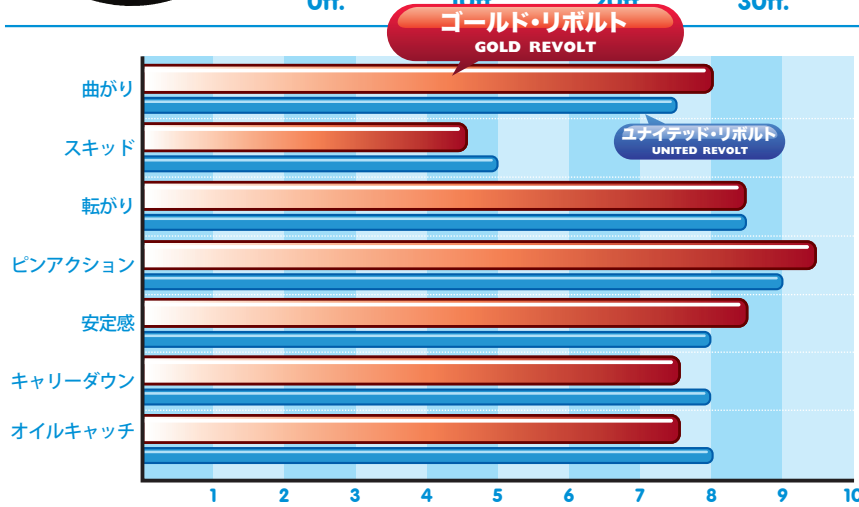
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

JACKAL GHOST, Jackal LE, Jackal Carnageに代表されるCoercion HF(High Friction) Coverstock。HeavyOil対応のボールとして君臨しているJackalシリーズですが、今度のGOLD REVOLTはこのCoecion HFP Coverstockを使用、勿論CoreTechnologyにはREVOLTの代名詞でもあるVanquish Coreを搭載しています。

まずGOLD REVOLTの開発経緯は、一世を風靡し、皆様に愛され、再販に再販を重ねたCOVERT REVOLTがMOTIV社で生産されなくなったこと。いまだにCOVERT REVOLTを求めるユーザーが多いこと。日本独自の目線でさまざまな環境に適したREVOLT。限りなくCOVERT REVOLTに近づけ、新たなエッセンスを加えた日本完全監修のInternational製品として皆様に届けたかったからです。このGOLD REVOLTはCOVERT REVOLTのTurmoil HFS Reactiveから一段階強いCoverstockのCoecionを採用しています。前作UNITED REVOLTのHelix Coverstockよりもオイルに強いのが特徴で、同じ表面仕上げで比較投球してみてもCoecion Coverstockのほうが手前から粘り強いキャッチを感じます。

それがGOLD REVOLTとUNITED REVOLTのコンセプトの差で、Mid Laneから曲がり始めるContinuous系のCOVERT REVOLTとBackendで動きを強調するUNITED REVOLTと言えます。GOLD REVOLTはCOVERT REVOLTに限りなく近づけるため、強いCoecion CoverstockのPearl素材を使用し、Box Finishを3000 Grit LSSで仕上げましたので、”あの独特な雰囲気曲がり”からの+αされたBackendの動きを実感して頂けるでしょう。

GOLD REVOLTはミディアムから上のコンディションで必ずやベンチマーク的なボールとして認知されることは今までの経緯で間違いなく、REVOLTファンの方はかならず持っておかなければならない、またこの機会を逃すことはCOVERT REVOLTで味わっているはず。このビックチャンスは是非お見逃しなく!

特記事項

COVERT REVOLTに似たボールを探していた方には是非使って頂きたい、日本完全監修のGOLD REVOLT。Midからの特徴のある曲がり始めから、ピンヒットまでオリジナルを彷彿させます。